

# 衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会ニュース

【第 212 回国会】令和 5 年 12 月 4 日（月）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 高村外務大臣政務官及び深澤外務大臣政務官からそれぞれ発言がありました。

2 北朝鮮による拉致問題等に関する件

・上川外務大臣、松野国務大臣（拉致問題担当）、松村国務大臣（国家公安委員会委員長）、工藤内閣府副大臣、青山文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者） 斎藤洋明君（自民）、山崎正恭君（公明）、太栄志君（立憲）、和田有一朗君（維新）、田中健君（国民）、笠井亮君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

## 斎藤洋明君（自民）

- （1） 拉致問題解決に向けた松野国務大臣の意気込み
- （2） 新潟県の花角知事が、国民の関心を拉致問題に向けるためにも、可能な限りで北朝鮮との交渉状況を示すよう求めていることに対する政府の見解
- （3） 北朝鮮との国交正常化交渉をすべきではないとする考え方及び国交正常化交渉のテーブルの上で拉致問題に取り組む方法それぞれのアプローチについての政府の見解
- （4） 北朝鮮に対して国際社会が実施している経済制裁の抜け穴について
  - ア 「瀬取り」の取締りの現状について
  - イ 北朝鮮が暗号資産をハッキングして外貨の収入源としていることに対する警察庁の認識及び対策
- （5） 拉致問題解決に向けた他国との協力について
  - ア 朝鮮半島周辺で価値観を共有する民主主義国家と共同で軍事演習を行うことの必要性
  - イ 北欧など、我が国と北朝鮮の双方と国交を有する第三国にコミットを求める重要性
- （6） 2023 年 11 月に新潟市で開催された「忘れるな拉致 県民集会」に出席した工藤内閣府副大臣の拉致問題解決に向けた思い

## 山崎正恭君（公明）

- （1） 2023 年 2 月に家族会と救う会が公表した、「親の世代の家族が存命のうちに全拉致被害者の一括帰国が実現するなら、我が国が北朝鮮への人道支援を行うことに反対しない」とする新たな運動方針に対する松野国務大臣の認識
- （2） 拉致問題の解決のために日中韓の関係をより強固にしていくことに対する上川外務大臣の見解
- （3） 拉致問題に関する教育の現状認識と今後の方向性に関する松野国務大臣及び青山文部科学副大臣の見解

## 太栄志君（立憲）

- （1） 2002 年 10 月以来、21 年間、1 人の拉致被害者も帰国していないことについて
  - ア これまでの拉致問題への対応に関する政府としての総括
  - イ 進展がなかったのは何が問題であったかについての松野国務大臣の見解
  - ウ 政府としての総括の有無の確認
- （2） 2023 年 5 月 27 日の国民大集会における「私直轄のハイレベルで協議を行っていきたい」旨の岸田総理の発言について
  - ア 「総理直轄のハイレベル協議」の具体的内容

- イ 総理をサポートする大臣及びその役割調整
- ウ 上記の岸田総理の発言後に発表された「日朝両国が会えない理由はない」とする旨の北朝鮮外務次官談話の事実関係
- エ 上記北朝鮮外務次官談話が日本に対する北朝鮮の姿勢の変化を示すものであるかについての政府の見解
- オ 一部で報道されている 2023 年 3 月から 5 月における日朝の非公式接触の事実関係
- カ 日朝首脳会談へ向けた準備状況
- (3) 2023 年 11 月 26 日の国民大集会における横田家族会代表の「日本政府は本気で拉致問題解決に取り組んでいるか甚だ疑問である」旨の発言に対する上川外務大臣の見解
- (4) 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会関係
  - ア 本委員会の役割に対する松野国務大臣の認識
  - イ 秘密会で開会された場合に政府が情報を出せる可能性
- (5) 連絡事務所等の設置に対する上川外務大臣の見解
- (6) 拉致問題に関する日米韓 3 か国の協議を制度化していないことに対する上川外務大臣の見解

#### 和田有一朗君（維新）

- (1) 「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律」（平成 14 年法律第 143 号）に基づく拉致被害者の認定関係
  - ア 金田龍光さん、田中実さん、高敬美さん及び高剛さんの認定状況
  - イ 認定されている方と認定されていない方との差異
  - ウ 認定の対象が日本国民に限られていることの確認
  - エ 国籍にかかわらず拉致被害者の帰国に向けて取り組むことについての政府の認識
- (2) 日朝交渉関係
  - ア 国籍に関係なく拉致被害者の帰国に向けた交渉を行うことの確認
  - イ 交渉を動かすため、北朝鮮の指導層等に対し何らかの呼び水を与えることについての政府の認識

#### 田中健君（国民）

- (1) 北朝鮮向けラジオ放送「しおかぜ」の施設の老朽化等に対する政府の認識及び支援状況
- (2) 拉致問題に関する日韓の連携の在り方及び協力の意義に対する上川外務大臣及び松野国務大臣の見解
- (3) 国連総会第三委員会における北朝鮮人権状況決議によるこれまでの成果
- (4) 拉致問題解決に向けた松野国務大臣の決意

#### 笠井亮君（共産）

- (1) 北朝鮮による衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射に対する松野国務大臣の見解
- (2) 核兵器禁止条約関係
  - ア 12 月 1 日に核兵器禁止条約の締約国会議で採択された政治宣言に対する上川外務大臣の受止め
  - イ オブザーバー参加など、我が国が条約に関与して対話を行う必要性